

# 平成27年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	3	18時台	鉄鋼業	30人以上 49人	崩壊・倒壊	金属材料	被災者は、天井クレーンを使用して鋼板コイル(鋼板をロール状に巻いたもの)の移動作業中、先に移動させ立てかけて置いた鋼板コイルのうちの1つ(コイルの直径173cm、幅20cm、重さ3.1トン)が倒れてきて下敷きとなり死亡したものの。
27	3	9時台	その他の製造業	10人未満	火災	溶接装置	被災者は、事業主とともに生コン製造プラントに設置されている「骨材貯蔵ビン」と呼ばれる金属製のピットの補修作業に従事していたところ、生コン製造プラントの内壁に吹き付けられたウレタンフォームに何らかの火が燃え移って火災が発生し死亡したもの。事業主も死亡し注文者の労働者1名が負傷した。
27	9	16時台	食品製造業	50人以上 99人	おぼれ	その他の装置・設備	被災者は、醤油を製造するためのもろみを入れてある発酵タンクの攪拌作業を行っていたが、発酵タンク内(幅約5m、奥行き約5m、深さ約3.5m)に浮かんでいるところを発見されたもの。
27	10	15時台	金属製品製造業	10人未満	崩壊・倒壊	材料	被災者は工場内に長さ6m、重量200kgの河川設置用柵を6列、自立させて並行に並べ、1列目の壁側に立って塗装作業を始めたところ、何らかの原因により奥側6列目から柵が次々に被災者側へ倒れ始め、被災者は柵と共に床に倒れ、頭部を打ち付けたもの。
27	11	13時台	金属製品製造業	10人未満	はさまれ・巻き込まれ	一般動力機械	被災者は、生コンクリート製造プラントにおいて、沈殿槽に堆積するコンクリートスラッジを取り除くための装置である脱水機のろ布(フィルター)の取替え作業に従事していたところ、すぐ隣で別会社の労働者が脱水機の電動ポンプの修理を行っており、試運転のため電動ポンプを動かそうとしたが誤って脱水機を動かしてしまい、脱水機の中に入って作業していた被災者が機械に挟まれたもの。
27	12	15時台	食品製造業	50人以上 99人	はさまれ・巻き込まれ	一般動力機械	被災者は、包装用機械の点検・調整作業中、被災者が当該機械内部にいることに気がつかないまま共同作業者が当該機械を運転させたため、当該機械に頭部が挟まれたもの。
27	12	16時台	輸送用機械等製造業	30人以上	墜落・転落	乗物	被災者は、工場で鉄道車両の屋根に上がって装置のカバーの取り付け作業中、使用していた安全帯のフックを装置のカバーの取手から取り外したときに、鉄道車両の屋根の端から3.8m下のコンクリートの床に墜落したものの。

# 平成27年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	1	15時台	土木工事業	10人以上29人	墜落・転落	仮設物・構築物等	被災者は、屋根の雪下ろし作業中、高さ約6メートルの屋根の端部から墜落し死亡したものの。2階建ての建物の屋根(勾配約20度)上において、スコップを用い雪庇を除去する作業を行っていた。
27	1	15時台	建築工事業	10人未満	交通事故(道路)	動力運搬機	被災者はトンネル入口から50m付近をトラックを運転して走行中、対向車線にはみ出し、対向してきたトラックと正面衝突し死亡したものの。同乗者3名も負傷した。事故当時、トンネル内は一部アイスバーン状態であった。
27	3	11時台	土木工事業	30人以上49人	墜落・転落	仮設物・構築物等	被災者は、護岸工事現場において、施工済みの護岸ブロックの上から、高さ3.3m下のコンクリート地面に墜落し死亡したものの。
27	4	18時台	建築工事業	10人未満	交通事故(道路)	動力運搬機	被災者は建設現場から会社事務所に戻る途中、高速道路にて車から降り車道上に立っていたところ、後続車に激突され死亡したものの。
27	4	11時台	その他の建設業	10人以上29人	火災	溶接装置	被災者は工場の冷却設備の取替え工事のため、アセチレンガス溶接による配管の接続作業を行っていたところ、工場が火災となり同作業に従事していた4名(うち1名は事業主)が死亡したものの。出火当時、工場は休業していた。
27	4	20時台	土木工事業	10人以上29人	はさまれ・巻き込	建設用等機械	被災者は、道路舗装工事において、路面切削機の作業開始前点検中、油圧ホースから油漏れが確認されたため、ベルトコンベア一部分を垂直に立てた状態で、運転手2名で油圧ホースの交換作業を行っていたところ、ベルトコンベア一部分が機体側へ倒れ、1名は逃げたものの、被災者が機体との間に挟まれ被災したものの。
27	5	15時台	その他の建設業	30人以上49人	墜落・転落	動力運搬機	被災者は、ダンプの荷台に廃材を積み込む作業において、荷台上で車両系建設機械の誘導を行っていたところ、バランスを崩し約3.3m下の地面に墜落したものの。

# 平成27年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	6	11時台	土木工事業	30人以上 49人	墜落・転落	仮設構築物、建築物等	PC橋桁架設のためのエレクションガーダーの高さを調整するため、油圧ジャッキでガーダーを持ち上げていたところ、ガーダーが傾きガーダー下に敷設されていた鉄骨ブロック等がはね飛ばされたため、反動で労働者2名がPC桁の上に組まれた鉄骨ステージ上から約20m墜落し1名が死亡したものの。
27	6	2時台	建築工事業	10人未満	飛来・落下	動力クレーン等	被災者は、エレベーターの更新工事において既設エレベーターの撤去作業中、エレベーター昇降路内に組んだ足場上にて同僚の労働者2名が4階のエレベーターの扉を取り外し、電動ホイストにより扉を吊り上げていたところ、扉がホイストのフックから外れ、約20メートル下方で足場の層間養生の撤去作業をしていた被災者に激突したものの。
27	6	9時台	土木工事業	30人以上 49人	墜落・転落	建設用等機械	被災者は、新たに採石が行われる山の斜面に重機等が走行するための道路を整備する現場において、ブレーキを運転し岩石を破碎する作業を行っていたところ、当該ブレーカーが安定を失い、機械とともに斜面を転落し運転席より投げ出されたものの。
27	6	2時台	その他の建設業	50人以上 99人	感電	電気設備	被災者は、電車線支持物(鉄柱)検修を行うため、線路閉鎖をして起電停止を行い作業を開始した。検査のため被災者が昇柱し、柱上部で補助ロープを誤って停電していない高圧線(6600V)に掛けたため感電し宙ぶり状態となったものの。
27	7	14時台	木造建築工事業	10人未満	はさまれ まれ	動力運搬機	被災者は、ダンプトラックにより搬入した外構工事用のアスファルト合材を荷下ろしするための段取り作業中、上昇させた荷台が不意に下降し、何らかの目的で荷の下に入った被災者が荷台と車体の間に挟まれたものの。
27	6	14時台	木造建築工事業	30人以上 49人	墜落・転落	仮設構築物、建築物等	被災者は、木造2階建て商業施設建設工事現場において、2階床組の根太の固定作業中、足を掛けた根太がずれ、高さ3.2mから1階土間コンクリート上に落下し、後頭部を強打したものの。入院療養中であつたが死亡したものの。
27	8	8時台	その他の建設業	10人未満	交通事故(道路)	動力運搬機	被災者は、PHS無線基地局の保守業務のため、乗用車を運転して現場に向けて片側一車線の国道を走行中、右カーブで対向するトレーラーが蛇行しながら中央線をはみ出してきて衝突したものの。

# 平成27年 建設業における死亡災害

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	8	13時台	木造建築工事業	10人未満	感電	電気設備	被災者は、一般住宅の外壁張替え作業中、住宅への引込線の位置を調整するため、交流100ボルト(単相3線)が通電中の当該電路を握ったところ、電路の絶縁被覆が損傷していたため感電したものの。
27	8	15時台	木造建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設物、構築物等	被災者は、木造平屋建ての公営住宅新築工事現場において、高さ約3メートルの梁上で携帯電動ドリルを使用し、梁に接続金具を取付けるためのボルト穴を開ける作業を行っていたところ、コンクリート土間に墜落したものの。
27	8	14時台	その他の建設業	50人以上99人	飛来・落下	材料	被災者は、LNGタンク建設工事現場において、タンク内部で底板の溶接作業中、同タンク内部の高さ44.2mの足場上で吊りピース(7.6kg)を屋根の梁に溶接する作業を行っていた2名のうち吊りピースを持っていた者が、何らかの原因により感電して吊りピースを落としてしまい、吊りピースが被災者の背部に当たったものの。
27	9	14時台	土木工事業	30人以上49人	激突され	動力クレーン等	排水路工事において、排水路の法肩上に設置したドラグショベルを移動式クレーンモードで使用し、排水路上から排水路内へ鉄板を下ろす作業中、鉄板をつり上げて回転した際に地盤が緩んでいたため移動式クレーンが傾き、排水路内にいた被災者の方向に鉄板が振れ、被災者が鉄板と砂防ダムの上に挟まれたものの。
27	9	2時台	建築工事業	10人以上29人	墜落・転落	仮設物、構築物等	被災者は、7階建てのビルに隣接する鉄骨造の立体駐車場の解体工事現場において、鉄骨の外周に設置されている壁パネルの撤去作業中、ビルの屋上から25.4m下方の地上に墜落したものの。
27	10	14時台	建築工事業	10人以上29人	墜落・転落	環境等	屋根の補修(応急処置)を6名(屋根上4名、高所作業車1名、地上1名)で行っていたところ、風により屋根鉄板が吹き上がり、屋根上に乗っていた4名が屋根鉄板とともに吹き飛ばされ、死亡者1名を含む3名が地面に、1名が高さ違いの低い屋根に墜落したものの。
27	10	11時台	その他の建設業	10人以上29人	墜落・転落	仮設物、構築物等	被災者は、顧客が購入予定の工場内の水回りを顧客とともに点検作業中、高さ3.0mにある通路を歩行していたところ、エキスパンドメタル製の床材ごと墜落したものの。

# 平成27年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	11	23時台	土木工事業	10人以上 29人	はさまれ まれ・巻き込	建設用等機械	<p>ずい道建設工事現場において、発破作業の準備を終え、退避のため切羽付近の重機4台(ドラグ・ショベル、ドリルジャンボ、プレーカ、トラクター・ショベル)を順次移動させていたところ、切羽から11m離れた地点で、重機に轢かれた状態の被災者が発見されたもの。</p>
27	11	9時台	土木工事業	10人未満	墜落・転落	仮設構築物、建築物等	<p>被災者は、橋梁工事において使用したつり足場の解体作業中、橋桁の下部に設置されていた足場板を撤去していた際につり足場から下を流れていた川に墜落し、川を約100メートル流されたもの。墜落から約1時間30分後に救出されたが溺水により死亡したもの。</p>

# 平成27年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	3	7時台	道路貨物運送業	100人以上 299人	崩壊・倒壊	荷姿の物	被災者は、倉庫内において同僚の労働者と5段3列に積み上げられている飼料が入ったフレコンバッグ(直径約1m、高さ約0.7m、重量0.5トン)が横で空き袋の整理作業をしていたところ、同僚が整理作業に使用していたフォークリフトの爪が、2段目中央のフレコンバッグに当たってフレコンバッグが破損して飼料が漏れ始め、上部の9個のフレコンバッグが崩壊して下敷きになり死亡したものの。
27	6	14時台	陸上貨物取扱業	10人未満	崩壊・倒壊	荷	被災者は、倉庫内において天井クレーンを使用して平鋼の束の移動作業を行っていたところ、5段に積み上げた平鋼の束の上から3段分が玉掛けワイヤーを外す作業を行った後、移動していた被災者の方に崩れ平鋼の束に挟まれたものの。
27	7	18時台	道路貨物運送業	30人以上 49人	交通事故(道路)	動力運搬機	被災者は、神奈川県から北海道へ向けて25トントラックを運転中、常磐自動車道下り線でサービスエリアに向かう片道一車線の流出路において、右カーブを曲がり切れずに横転しコンクリート側壁に衝突したものの。
27	9	18時台	道路貨物運送業	10人未満	交通事故(道路)	動力運搬機	被災者は、ダンプを運転し国道の緩い右カーブを走行中、対向車のトラックがUターンを行うために中央分離帯の切れ目からはみ出し対向車線に進入したため、衝突したものの。
27	10	10時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	崩壊・倒壊	動力運搬機	被災者(運転手)は、トレーラー(ウイング車)に荷を積み込む作業中、荷積先の労働者がフォークリフトを使用し、2段重ねにした積み荷(古紙、重量約400kg)を荷台上に降ろす際に荷が倒れ、荷台上にいた被災者が倒れてきた荷と荷台の壁との間に胸部を挟まれたものの。
27	11	11時台	道路貨物運送業	50人以上 99人	交通事故(道路)	動力運搬機	被災者は、中央分離帯のある片側2車線の国道をトラック(最大積載量2トン)を運転して荷の配送中に、信号の無い交差点で右折するために停車していたトラックに追突したものの。
27	11	2時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	交通事故(道路)	動力運搬機	被災者は、国道をトラックで走行していたところ、対向してきた大型トラックと正面衝突したものの。道路はほぼ直線で、路面は圧雪アイスバーンであった。

# 平成27年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	12	9時台	道路貨物運送業	10人以上29人	激突され	動力運搬機	被災者は、ダンプトラック荷台の最後部にある開閉式の扉の修理作業中、扉を開いた状態で腐食部位を溶接によって補修していたところ、扉を保持していた支柱が脱落したため扉が落下し、被災者の頭部を直撃したものの。
27	12	8時台	道路貨物運送業	10人以上29人	墜落・転落	動力運搬機	荷主先の構内において、馬鈴薯入りのスチールコンテナをトレーラーへ積み込み後、出発準備中にトラクターヘッドとトレーラーの接続部付近の地上に倒れていた被災者を、別のトラック運転手である同僚が発見したものの。
27	12	11時台	道路貨物運送業	10人以上29人	はさまれ・巻き込まれ	建設用等機械	被災者は、伝票を受領するため砕石工場敷地内にダンプカーを止め事務所へ徒歩で向かっていたところ、後進して荷(山砂)を運んでいたトラクター・ショベルに轢かれたものの。
27	10	22時台	道路貨物運送業	10人未満	おぼれ	環境等	被災者他5名で港のふ頭において、ロシア船からカニの荷揚げ作業を終え、現地で解散となった後、被災者は乗って帰るトラックが停車してある方向とは反対側の岸壁の方に歩いて行き、同船と岸壁の間から転落し溺死したものの。

# 平成27年 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	1	15時台	林業	10人以上 29人	その他	環境等	被災者は作業員等5名とともに造林地にて植栽木の枝払い作業を行っていたところ、一部の作業員が熊らしき黒い物体を発見して即座に避難したが、被災者だけ見当たらなかったため現場付近を捜索したところ、被災者が熊の巣穴付近でうつ伏せの状態で見つかるのを発見した。被災者は脳挫傷等により死亡した。
27	4	11時台	林業	10人未満	墜落・転落	用具	被災者は、個人住宅の樹木の伐木作業のため、樹木にはしごを固定し、これに昇って上方の幹に滑車を介したロープをかけて幹を切断し、滑車を利用して切り取った幹を地上に降ろす作業をしていたところ、被災者がくさびを打ち込んでいた幹が折れ始めたため、これに当たらないようにはしごを降りる途中、足を踏み外して地面に墜落した。
27	9	10時台	林業	10人未満	崩壊・倒壊	環境等	伐採現場において、被災者が木の下敷きになり倒れているのを、同僚が発見した。災害発生現場の状況から、被災者が木を伐倒した際に、伐倒した木にかかっていた木(風倒木)も倒れたため、かかっていた木の下敷になったと推定される。
27	11	14時台	林業	10人以上 29人	崩壊・倒壊	環境等	被災者は、チェーンソーを使用し、欠損木(樹高8メートル、胸高直径26センチメートル)の伐倒作業を行うため受け口を作り追い口切りをしたところ、欠損木が倒れなかったため印をつけて放置していたが、何らかの原因で欠損木が倒れ被災者の胸部に当たった。



## 平成27年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	1	4時台	道路旅客運送業	100人以上 299人	交通事故（道路）	乗物	被災者は、タクシー運転業務に従事中、後部座席に乗客2名を乗せ交差点に進入したところ、進行方向右側より走行してきた一般車両に、運転席側面から衝突され横転し死亡したものの。被災者はシートベルトを着用していた。また、災害発生場所の路面は乾燥状態であった。
27	1	10時台	その他の事業	10人未満	墜落・転落	環境等	被災者は、民有林で砂防ダムの建設予定地となる箇所測量業務において、立木の調査を行うために斜度約45度の斜面を歩行中に足を滑らせ約7メートル下の沢まで滑落し死亡したものの。
27	2	7時台	鉄道・軌道・水 航空業	50人以上 99人	有害物等との接触	危険物・有害物等	被災者は、無人駅ホームの除雪作業に午前5時から単独で従事していた。午前9時すぎに駅ホームに隣接する倉庫内で倒れているところを発見されたものの。倉庫のシャッターは閉じられており除雪機のエンジンはかかったままの状態倉庫内は排気ガスが充満していた。一酸化炭素中毒による死亡と診断されたものの。
27	2	11時台	土石採取業	10人以上 29人	はさまれ まれ・巻き込	動力運搬機	被災者は、プラント内のベルトコンベヤーの巡視中にブリーに巻き込まれ死亡したものの。被災者はコンベヤーの約3メートル下の雪面で発見されたが、周りには曲げられた状態の金づち、角材が落ちていたことから、ブリーもしくはベルトに付着した泥等を取り除く作業中に巻き込まれたものと推定される。
27	2	15時台	道路旅客運送業	10人未満	墜落・転落	用具	被災者は、脚立（最高高さ1.1m）を使用してバスの窓拭き作業を行っていたところ、脚立の踏ざん2段目（51cm）又は3段目（81cm）から墜落し、意識不明のまま病院で治療を受けていたが死亡したものの。
27	3	14時台	旅館業	100人以上 299人	交通事故（道路）	乗物	労働者5名を事業場提供の車両で順次乗車させて事業場に向かって走行中、トンネル内でスリップしてガードレールに衝突し、同乗の労働者 <b>2名</b> が死亡し、運転手を含む労働者4名が負傷したものの。
27	5	12時台	小売業	10人以上 29人	飛来・落下	その他の装置・設備	被災者は、フォークリフトの点検・整備作業のため、二柱リフトで持ち上げたフォークリフトにリアアスクルビームを取り付けていたところ、同二柱リフトから床へ落下したフォークリフトに当たったもの。当時、被災者は1名で作業を行っていた。

## 平成27年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	5	8時台	港湾運送業	50人以上 99人	はさまれ・巻き込まれ	建設用等機械	被災者は、船舶に岩を積み込むため、岸壁側に移動式のコンベヤーを設置する作業を行っていたが、設置したコンベヤーの位置を修正することとなり、他の労働者がコンベヤーの乗っている架台をトラクターショベルのバケットで持ち上げて移動させたところ、近くを歩行していた被災者がコンベヤーの架台の車輪にひかれて死亡したものの。
27	5	11時台	小売業	10人以上 29人	はさまれ・巻き込まれ	動力運搬機	被災者は、4トンダンプの車検整備において、荷台を上げて車体と荷台の間に入り荷台昇降用油圧ホースを交換する作業中、油圧ホースを取り外したため荷台が下降し、ストッパーが衝撃で外れ、車体と荷台の間に挟まれ死亡したものの。
27	5	9時台	清掃・と畜業	50人以上 99人	墜落・転落	用具	被災者は、2階建て建築物の2階窓の縁に移動はしごを立て掛け、同はしご上で、窓ガラスの清掃作業を行っている際に、体勢を崩し、体の左側から約4メートル下の地面に墜落した。
27	7	16時台	小売業	30人以上 49人	はさまれ・巻き込まれ	一般動力機械	農家の農機具倉庫内で、ジャガイモ収穫機の点検・修理作業を行っている被災者と連絡が取れないため、様子を見に行ったところ、収穫機の茎葉ローラー（ジャガイモから茎を外すローラー）に巻き込まれている被災者を発見したものの。
27	2	17時台	旅館業	30人以上 49人	おぼれ	環境等	被災者は、エゾフクロウの餌付けのために、沢に設置された生簀に活魚を入れる作業中、川岸を除雪していたところ転倒し溺水により死亡したものの。
27	7	9時台	土石採取業	10人以上 29人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、林道新設現場へ骨材を運搬するため、ダンプトラックを運転し林道を走行中、林道脇の崖をトラックごと約55m転落したものの。
27	7	12時台	小売業	10人以上 29人	感電	電気設備	被災者は、ホテルの洗い場に設置されている自社製品の食洗機を修理するため、一人で配電盤室にて配電盤のカバーを開けて食洗機の開閉器の点検作業をしていたところ、露出していた200Vの充電部分に左肩が接触して感電したものの。

## 平成27年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
27	8	13時台	農業	10人未満	高温・低温の接触	環境等	被災者は、ビニールハウス内において農作業に従事していたが、体調不良のため早退し、同日の夕刻に病院を受診した。その翌日、病院から紹介された他の病院を受診し、そのまま入院したが、被災した日から3日後に熱中症により死亡したもの。
27	12	14時台	その他の事業	10人以上29人	墜落・転落	動力運搬機	被災者は、屋内の荷捌場内で、年末大掃除の一環として作業場の一角を天井からシートで囲う作業するため、魚を入れるタンク(長さ2m、幅1m、高さ80cm)に乗り込み、別の労働者が運転するフォークリフトで高さ約4メートルまで上昇させてブルーシートを天井のレールに緊結する作業をしていたところ、バランスを崩してタンクごとフォークから墜落し頭を強く打ったもの。
27	12	10時台	その他の事業	50人以上99人	転倒	環境等	落石状況を調査していた被災者が夕方になっても駐車場所に戻らず、翌日の朝、岩山の麓の斜面に倒れているのが発見されたもの。 被災者は事業場から2泊3日の旅程で1人で来ており、この岩山は調査対象のひとつであった。